

おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第2号

令和4年5月31日(火)

校長 福沢 俊之

TEL 03(3831)3787



学校ホームページ

<http://www.taitocity.net/okachimachitaitou-jhs/>

↑更新中

各学年 初めての宿泊行事を終えて

校長 福沢俊之

今月（5月）は、ゴールデンウィークが明けてから、

10日（火）～12日（木） 1学年 霧ヶ峰オリエンテーション

18日（水）～21日（土） 2学年 霧ヶ峰移動教室

25日（水）～27日（金） 3学年 京都・奈良方面 修学旅行

のとおり、毎週各学年の宿泊行事を実施してきました。現3年生が入学した令和2年度は、コロナ禍により、全学年臨時休校からのスタートでした。この年は、宿泊行事を含めて例年行われてきた多くの行事が中止、またはかろうじて代替の行事を実施するにとどまりました。令和3年度も1学年のオリエンテーション、2学年の移動教室は中止、3学年の修学旅行は卒業式後の3月21日出発に延期しほぼ当初の計画通りの行程を実施することができました。このようなコロナ禍の2年間でしたので、1年生だけでなく2、3年生も、中学校に入学して初めての宿泊行事となりました。

宿泊行事は、生徒にとって中学校生活でのかけがえのない思い出になることから大変意味のある学校行事です。また、義務教育の目的、すなわち「個人の能力を伸ばす」「自立する基礎を培う」「社会に必要な基礎的能力を養う」といった目的を最後の3年間で実現するためにも欠かせない学校行事の1つです。目的実現までの過程を「かかわり」をキーワードに3つの側面から整理してみます。

○自然とのかかわり

霧ヶ峰の自然の中に身を置いてみたとき、広大な景色や空の広さ、舗装されていない起伏のある道、体全体で感じる風など、東京では感じることはないものが数多くあると思います。また、穏やかさと厳しさを合わせ持った気候も自然の崇高さという言葉に相応しいでしょう。環境破壊や気候の温暖化など、あらためて自然と人間とのかかわりを考えなければならない時代になっていることを考えても、生徒たちに大切な課題を提示してくれます。

○他者とのかかわり

特に寝食を共にすることで、1日の生活において、自分個人よりも他者とのかかわりや集団の一員としての振る舞いを優先する必要が生じます。時間を守ること、身の回りを片付けること、そしていろいろな「あいさつ」など、社会に出てよりよく生きる術を身に付けてほしいと考えています。

○歴史・文化・伝統とのかかわり

100年、500年、1000年といった日頃の私たちの時間感覚では測ることのできない歴史的な価値を持つものを、実際に見たり聞いたり体験したりすることができます。ただし、長い歴史の流れの中に自分を置いてみるという想像力とそのときに感じたことを自覚できる感受性も備えてほしいと思います。そのことがこれからの生徒自身の生き方にもよい影響を与えけるとすれば、目的を達成できたといえると考えます。

霧ヶ峰オリエンテーション、同じく移動教室、そして修学旅行、大過なく終えることができたことは大きな成果でした。保護者のみなさまのご理解とご協力に改めて感謝申し上げます。また、生徒たちにとってもよい思い出になってくれることを願っています。その上で、それぞれの学年に応じた「かかわり」の教育があると考えたとき、コロナ禍の2年間、実施できなかった影響があるのか、といったことも含めて、生徒たちの事後学習とともに振り返ってみたいと思っています。



霧ヶ峰学園に行つて (1-1)

僕は霧ヶ峰オリエンテーションをして、とても成長を実感できました。一番成長したと実感できたことが、挨拶です。なぜなら、学園の方々や体験学習をしたルミエールの方々などに、いつでも元気に挨拶ができたからです。

僕は、最初の方は、挨拶が全くできませんでした。例えば、小学校で先生方や挨拶当番の人が積極的に挨拶をしてくれているのに、ただ僕は何も言わずに、頭を下げているだけでした。その際は、僕はずっと「なんで僕は、挨拶ができないのだろう、情けない。」とっていました。こんな気持ちをもうしたくないと思い、挨拶を心がけていきました。そして、勇気を出して、色々な方々に挨拶をしていきました。この経験が活かして、中学校でも挨拶ができるようになりました。また、挨拶をして、たくさんの人と関わり、仲良くなっていきました。他にも、ほめられたり、元気でいいねなどと言われたりして、とても気持ちよかったです。

だから、これからは、地域の方々やお世話になっている人達に積極的に挨拶をしていき、将来にも活かしていくために、人とコミュニケーションをとっていきたいです。

霧ヶ峰オリエンテーション (1-2)

僕が霧ヶ峰に行つて思ったことは、行く前と比べてとても成長したということです。特にしっかりメリハリをつけて行動したり、挨拶したりなど様々な面で成長することができました。またしっかり楽しむこともできたのでとても良かったです。中でも特に思い出に残ったのは校歌コンクールやリレーです。どちらもクラスのみならず協力して全力で取り組むことができ、みんなとの仲をより深めることができました。校歌コンクールでは校歌の意味を考えて歌いました。コロナウイルスの影響で最近歌えていなかった歌を久しぶりに歌うことができ良かったと感じました。何よりどれも全力で取り組んだことができたので良かったです。霧ヶ峰が終わつてとても疲れたけれど、寂しかったです。

今の2・3年生はこの霧ヶ峰オリエンテーションに行くことができなかったもので、その分も僕たちが頑張ろうと思いました。今回のオリエンテーションで本当に様々なことを学びました。学園の方々も僕たちのためにいろいろとやってくださったので、その分も頑張っていきたいです。このことを忘れずにこれからに活かしていけたら良いと思いました。

霧ヶ峰で学んだこと (1-3)

私が中学生になって初めての霧ヶ峰オリエンテーションで学んだことは、2つあります。

第一にあいさつです。最初は先生たちに言われてあいさつをしていましたが、三日間あいさつをするうちにあいさつをするのが楽しくなつてきて、最終日にはあいさつをしたいなあとずっと思っていました。あいさつをすることで相手も自分も良い気持ちになれることがこの霧ヶ峰でよくわかりました。今後もあいさつの力でみんなと自分をよい気持ちにさせていきたいです。

第二に、仲間の大切さです。霧ヶ峰オリエンテーションの中で仲間の大切さをいろいろな場面で感じました。たとえば、全級リレーや球技大会などは、仲間と協力しないと行けません。そこでひとりが和を乱すと、チームがだめになってしまうこともわかりました。失敗やミスがだめなのではなく、ひとりが中途半端な気持ちで臨むと周りも中途半端な気持ちになってしまうということです。私たちのクラスは全級リレー、球技大会どちらも1位を取ることができました。それは、チームワークが良かったからだと思います。失敗やミスをした人がいても優しく声をかけたから勝つたと思いました。

霧ヶ峰オリエンテーションで学んだことを、今後いろいろな場面で活かしていこうと思います。